

セルフリムーヴで運用の幅が広がった コストを抑え手軽にPS変換できる島構成へ 『ミカドワールド店』(愛知県)



『セルフリムーヴ』を導入してリニューアルオープンした目玉とした5円スマスロコーナー

愛知県江南市にある『ミカドワールド店』が3月31日にリニューアルオープンした。同店ではスマート遊技機の増加を見込んでニューギン・アドバンスのスマート遊技機専用島『セルフリムーヴ』を導入。スマパチ、スマスロのどちらにも柔軟に対応できる体制を整えた。

愛

知県の北部、江南市にある『ミカドワールド店』。経営する株式会社星和(本社愛知県一宮市)は愛知県と東京都でホール8店舗を展開している。『ミカドワールド店』は今回のリニューアルで外装を一新したほか、遊技機台数を648台から707台に増して近隣店舗と肩を並べた。

増台分はすべてパチスロで、リニューアル前から比べて106台増加。和田拓也店長はその理由をこう語る。「もともと当店はパチスロを軸に営業してきた店舗。リニューアルのタイミングではスマスロが好調な動きをしていたので、パチスロを増やす選択をしました」

増台にあたっては、一部でP↓S工事を実施。ニューギン・アドバンスが工事を担った。今後メダル機が入らないことを前提に、既存のパチスロコーナーの壁側の島を91台のスマスロ専用島に変更。パチンココーナーにもスマパチ専用島22台を導入した。ほかにもパチンココーナーの一部で同社の『P/S併用島』を導入して、パチンコ18台、パチスロ18台を設置した。この島の玉補給にはニューギン・アドバンスの『EC

Oポリシステム』を採用した。『ECOポリシステム』は、オリジナル洗浄水で常にキレイな玉を提供し、業界唯一のウイリス除去能力を兼ね備えた玉補給研磨機。さらにスマート島に変更した際には不用となった補給研磨機を簡単に取り外して他の島や系列店に移動できる無駄のないシステムとなっている。

さらにリニューアルの目玉となったのが新設したスマスロの5スロコーナー。景品カウンター向かいの景品棚があった場所に13台、その横の中央通路を挟んでポスターを貼っていた壁に13台、合計スマスロ26台を1列に並べた。「スマスロはリターンがある分、敷居が高い側面もあります。当店は2円パチスロが大人気ですが、2円では物足りないというお客様もいらっしゃる。



外装を一新した『ミカドワールド店』



26台のスマスロが1列に並ぶ光景は圧巻



『セルフリムーヴ』島はカウンターの向かいで、PSどちらを設置しても違和感がない



『セルフリムーヴ』島は景品棚があった場所に設置した



『セルフリムーヴ』は柱に挟まれたデッドスペースにも設置可能

20円パチスロの受け皿として、ニーズが高まっている5円パチスロをここに設置しました」

このスマスロ島にはニューギン・アドバンスのスマート遊技機専用島『セルフリムーヴ』を導入した。

「今回はスマスロを増やしましたが、今後スマパチに代わることもあると思っています。増設でパチスロオンリーにしてしまうと、パチンコに戻すときに費用がかかるし、店休もしなければなりません。そこに『セルフリムーヴ』の提案があったので、これは良いということを採用させていただきました」

『セルフリムーヴ』は、4隅のビスを外して木枠を取り外し、外した木枠を「くるりんば」して元に戻すだけでP↓S変換ができるスマート遊技機専用島。変換作業は慣れれば1台数十秒でできてしまう。専門業者を呼ぶ必要がなく、店舗スタッフでP↓S変換が手軽にできるため、工事時間・コストともに削減できる。和田店長も変換作業の簡単さを実感している。

「まだ実際に店舗でP↓S変換はしていないのですが、ショールームで体験した際には、簡単でした。アルバイトさんでもできる感じですね」

『セルフリムーヴ』を設置した5スロコーナーは、週末は満台になるほど稼働が良いという。

スマート遊技機がいつ、どれだけ普

及するかは予測がつかない。そんな時期だからこそ、コストを抑え柔軟に対応できる島づくりが必要とされる。和田店長は『セルフリムーヴ』でこんなアイデアも考えている。

「例えば、花の慶次のパチンコとパチスロを並べて設置することも可能になるので、P/Sの垣根を超えた面白い島構成もできますよね。そういう意味ではアイデア次第で運用の幅が大きく広がります。今週それをやって来週は元に戻すといったことも簡単にできてしまいますから」

同店に近い名鉄の布袋駅は3年前に近代的な駅舎に替わり、江南市は名古屋や岐阜で働く人たちのベッドタウンとして人口が増加しているという。リニューアルを機に和田店長は決意を新たにする。

「当店は仕事帰りのお客様や足下商圏のお客様が多い店舗。年配層に向けた機種構成など、出玉だけに頼らずに、雰囲気も含めて気に入っていただけるお店にしていきたいですね」



和田拓也店長